事例No.	187
公表年度	H29
団体の属性	町村
団体名	岩手県紫波町

事例区分	公営企業

タグ	・下水道事業 ・歳入確保 ・（公会計）業務の効率化

事例種類	その他

事例内容・タイトル

一般会計繰入金縮減に向けた使用料改定

出典

経営戦略策定ガイドライン（下水道事業・先進的取組事例集）

1. 使用料改定

事例1

○ 事例名等

事例名	一般会計繰入金縮減に向けた使用料改定
団体名	岩手県 紫波町
事業名	公共(法適)・農集(法適)・小排(法適)

○ 人口・面積・密度

規模データ	人口 人	面積 ha	密度 人/ha
行政区域内	33,799	23,903	1.4
処理区域内(公共)	19,505	653	29.9
処理区域内(農集)	6,409	352	18.2
処理区域内(小排)	50	7	7.1

1. 取組みの背景

平成23年度に汚水処理事業4事業すべてに地方公営企業会計を適用したが、初年度において約1億8千万円の純損失を計上、経費回収率も47.89%に留まった。
経費縮減には取り組んでいるものの、一般会計からの繰入金に頼っている状況が浮き彫りとなったことから、赤字の縮減を図るべくH25年度に使用料を改定した。

2. 内容、効果額等

①改定内容

(改定前)
・使用料体系表(税込) (単位:㎥、円)

	汚水量	使用料
基本使用料	0～6	1,008
従量使用料	6～20	134.40
	21～30	141.75
	31～40	154.35
	41～50	182.70
	51～100	207.90
	101～500	226.80
	501～1,000	242.55
	1000以上	255.15

・一般家庭用使用料(月20㎥あたり)
2,889円 ／月

改定率
(15.9%)

(改定後)
・使用料体系表(税込) (単位:㎥、円)

	汚水量	使用料
基本使用料	0～6	1,039.5
従量使用料	6～20	173.25
	21～30	177.45
	31～40	184.80
	41～50	193.20
	51～100	211.05
	101～500	226.80
	501～1,000	242.55
	1000以上	255.15

・一般家庭用使用料(月20㎥あたり)
3,465円 ／月

②効果額

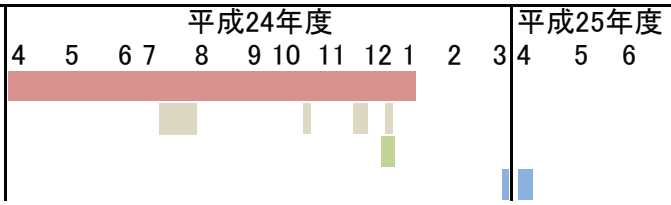
(改定前)
・使用料収入 H24 310,023 千円

(改定後)
・使用料収入 H25 350,948 千円

(参考)
・改定前の使用料で算定した場合の使用料収入
311,383千円

3. 検討過程等

①スケジュール



②住民・議会への説明

・まちづくり座談会での説明	H24.6～7
・使用料改定説明会実施	H24.11
・町広報誌への記事掲載	H24.10 H25.2
・議会議員全員協議会での説明	H24.11

4. 今後の課題・考慮すべき点

使用料改定に先立って策定した財政計画の収支計画に基づいて住民への説明を行ったが、収支の見込みを示し次期改定の説明までしたことで、理解が得られやすかったのではないかと考えられる。そのためにも、地方公営企業会計の適用と経営計画の策定が改定の前提と言えるのではないか。
改定にあたっては、累進度の是正により使用料収入の増につながった。今後は基本使用料の是非も含めて検討し、次期改定を行う予定である。